

## 論文審査結果の要旨

論文提出者	(氏名) 樋口拓哉
論文審査委員	主査 田中芳彦 印
	副査 坂上竜資 印
	副査 金子高士 印
論文題目	Effects of <i>Lactobacillus salivarius</i> WB21 combined with green tea catechins on dental caries, periodontitis, and oral malodor
(論文審査結果の要旨)	
<p>乳酸菌 <i>Lactobacillus salivarius</i> WB21 株配合錠薬を用いた臨床試験で、本菌の口腔利用が口臭や歯肉出血を抑制し、う蝕リスクを高めないことがこれまでに見出されている。本論文は、WB21 株ならびに茶カテキン EGCg がう蝕原性細菌、歯周病原細菌および口臭の原因となるメチルメルカプタン (MMC) に及ぼす影響について in vitro で解析したものである。その結果、WB21 株にう蝕原性細菌の増殖と不溶性グルカン産生を抑制する作用があることを認めた。また、WB21 株の増殖に影響の少ない EGCg 濃度を見出し、WB21 株との併用によって歯周病原細菌の増殖を相乗的に抑制することを明らかにした。加えて、EGCg は MMC に対して高い抑制効果があることを示した。本研究は、乳酸菌と茶カテキンにう蝕、歯周病、口臭の原因に対して抑制効果があることを明らかにした意義のある知見である。</p> <p>公開予備審査会とその後の追加レポートにおいて、論文提出者は、研究の背景、目的と実験方法、得られた結果と考察および外国語について、明確に解説し、質疑に対する適切な回答が得られた。本論文に関する十分な背景と知識をもち、研究成果への貢献を有すると評価できた。</p> <p>以上より、本論文を博士（歯学）の学位申請論文として適格で価値のあるものと評価し、予備審査を合格と判定した。</p>	